

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 971 号	氏名	辻田 高明
学位審査委員	主査	田中 隆	
	副査	尾野村 治	
	副査	田中 正一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、長崎地域の特産品であるツバキを有効利用して製造販売される機能性発酵茶のサポニン分析法を開発すると共に、発酵茶製造原料であるツバキ葉のエラジタンニン含量が葉の成長に伴い減少するメカニズムを化学的に解明しようとしたもので、その研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 サポニン分析法の開発では、ツバキ葉サポニン特有の反応性を応用して特異的かつ簡便な HPLC 分析方法を考案した。エラジタンニンの減少については、酸化代謝によるものと推定して、精製したエラジタンニンを酵素酸化すると芳香環が酸化開裂すること、及びその酸化にカテキンの共存が必須であることを示して、エラジタンニンの新しい代謝機構を提唱した。さらにツバキ葉からエラジタンニンの新しい酸化的代謝産物を分離構造決定した。これらの研究で用いた手法は優れたものと評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 開発したサポニン分析法は簡便で再現性の良いものであり実際の製品への応用が可能である。また、植物代謝の中でエラジタンニン代謝は未解明の領域であり、申請者が本研究で提唱した新しい酸化的代謝機構は極めて価値が高く、今後のこの領域の研究展開の糸口となるものである。</p> <p>以上、本論文は天然物化学の立場から食品科学および植物代謝学の分野に大きく貢献するものであり、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			